

新居浜市共同調理場運営委員会議事録

開催日時 平成30年12月3日(月) 10時05分から10時40分まで

開催場所 新居浜市学校給食センター 2階 研修室

出席者 [出席委員] 9名
加藤京子、井上 毅、荒井正隆、河合秀和、宮川まゆみ、伊藤義男、薦田洋司、永井奈保子、林 隆子
[欠席委員] 6名
神野恭多、大西政年、吉松泰彦、戒能 正、鎌田幸一、森川仁美
[事務局] 3名
安藤課長、飯尾副課長、木村係長

配布資料 新居浜市共同調理場運営委員会次第、新居浜市共同調理場運営委員会関係条文、新居浜市共同調理場運営の概要・平成29年度実績及び決算状況について、中学校給食選択など年次経過、運営委員会委員名簿、新居浜市の教育及び市政概要の中の学校給食の関連部分

【委員会】

1 開会、安藤課長挨拶

2 配布資料の確認・運営委員会設置目的の説明・委員紹介(自己紹介)

事務局より配布資料の確認、別紙「新居浜市共同調理場運営委員会関係条文」に基づき、委員の職務内容共同調理場の概要、委員構成等を説明。その後、出席委員および事務局の自己紹介を行う。

委員長・副委員長の選出

新居浜市学校給食調理場設置及び管理条例施行規則第5条第1項により、委員の互選により選出とすることであるが、荒井委員より事務局一任との提案により、事務局より委員長に河合委員、副委員長に加藤委員を推薦、全会一致で選出。

3 議 事

河合委員長、加藤副委員長、挨拶に続き議事進行。

○委員長

共同調理場の概要、平成29年度事業実施及び決算状況について、説明願います。

事務局より、資料「新居浜市共同調理場運営の概要・平成29年度実績及び決算状況について」に基づき説明。

学校給食センターは、8中学校と県立新居浜特別支援学校本校、川西分校を対象に給食を配送しており、対象児童生徒数は中学校2,632人、特別支援学校本校265人、川西分校は42人。川西分校はセンターから配送したものを分校で再調理している。平成29年度の稼働日数は182日、アレルギー食対象者数は44名。平成29年度は、人件費、消耗品費、燃料費などの支出や施設等の維持管理業務委託、衛生管理のための検査、設備や部品の修繕、給食選択制予約に係るパソコンのリース、給食配送車の維持管理等を実施し、給食原材料費を除く決算額は1億805万9,126円であった。

高津共同調理場は、高津小学校と東中学校を対象に給食を作っており、対象校の児童生徒数は、1,059人である。平成29年度の稼働日数は186日で、アレルギー食対象者数は21名である。平成29年度は、消耗品費、燃料費などの支出、厨房器具等の修繕、給食配送車の維持管理などを実施し、給食原材料費を除いた決算額は、4,474万6,860円であった。

平成29年度に食物アレルギーや食中毒その他の事故はなかったが、先月に学校給食センターの炊飯機の不調によりご飯が炊けないトラブルがあり、新居浜給食センターに炊飯をお願いした。

○委員長

中学校給食選択率等について、説明願います。

事務局より、資料「中学校給食選択率等年次経過」に基づき説明。

中学校給食選択率等年次経過生徒数については、平成13年開所当時の3,900人から年々減小し、今年度は3,100人台。選択率は、開所以来増え続け、平成30年度は11月までで、センター配送校94.6%、市内全体では94.9%。

実質、ほとんどの子どもたちが給食を選択し、それでもマークシートのやり取りをしなければいけない生徒、学校、センターの業務改善を図るうえでも、担当課としては、今後、数年の内には選択制を廃止して完全実施に移行したいと考えており、給食施設整備基本計画の中でも、そのような方針を示している。

○委員長

その他について、何かございませんか。

事務局より、学校給食センターの機器更新について説明。

学校給食センターには、冷凍冷蔵庫、回転窯、焼物機、炊飯機、食器洗浄機、消毒保管機といった大型の調理機器があるが、今年で18年目を迎える機器も耐用年数を過ぎていたので、今年度以降7年間で主要な機器を更新していく。今年度に食器洗浄機と食器の更新を行った。来年度に焼き物機、揚げ物器及び食器消毒保管機、再来年度に冷凍冷蔵庫の更新を予定している。

最近、調理機器の不調で献立に影響を及ぼす場合もあり、ご迷惑をおかけしているが、この更新により改善を図り、安全安心な学校給食を安定的に提供していきたい。

○委員長

事務局の説明について、質問はございませんか。

○委員

先月の学校給食センターでの炊飯機の不調によるトラブルにおいて、新居浜給食センターへの炊飯依頼による対応が可能だった理由は？

→事務局：11月19日（月）の炊飯開始時に機器の不調が判明したため、市内の7小中学校の委託炊飯を行っている新居浜給食センターに問い合わせたところ、給食時間までに炊飯可能との回答があったため、炊飯を依頼した。

○委員

もしご飯が提供できなかった場合の対応は？

→事務局：市で緊急時の食糧として備蓄しているビスケットの提供を考えている。

○委員

給食の選択制を廃止して完全実施に移行したいとのことであるが、給食を選択していない理由がアレルギーであれば対応が必要では？

→事務局：新居浜市においては現在、アレルギー対応の給食を実施している。

○委員長

他にございませんか。ないようですので、以上で閉会いたします。